

名工大ホモトピー論集会 04 - 1

文部科学省科学研究費基盤研究 (A)(2) 課題番号 14204003 (代表 土屋昭博), 文部科学省科学研究費基盤研究 (B)(2) 課題番号 13440020 (代表 南範彦) による研究集会を開催致しますのでご案内申し上げます。

日時 : 2004年2月13日(金) ~ 2月15日(日)

会場 : 名古屋市昭和区御器所町

名古屋工業大学・2号館(正門正面に見える建物)・F2講義室(1階)

・名古屋工業大学ホームページ: <http://www.nitech.ac.jp/>

には、以下の情報へのリンクが張られています。

- 1 所在地 (名工大近郊の地図による案内があります。)
- 2 交通案内(主な公共交通機関の路線図と名工大までの経路の案内があります。)
- 3 建物配置図(名工大敷地内の建物の案内があります。)

第4回 part 1 survey talks は、昨年秋に日本数学会秋季賞を受賞されたばかりの京大数理研の有木さんに「超集中講義」の形式にてお願いします:

講演者: 有木進 (京都大学大学院・数理解析研究所)

講演題名: 「古典型 Hecke 環の表現論」

Hecke 環とは、簡単な基本関係で定義された、とても具体的な代数である。しかし、半単純環の場合でさえ、定義の単純さからは信じられないほどの深い理論が構築されてきた。また、90年代には半単純環でない場合の研究が大きな進展を見せた。

他方、Hecke 環が Weyl 群の群環の変形族である事実から、群のモジュラー表現の q -類似が多くの場合正しい推測を与え、近年は有限次元代数の表現論とも深くつながりつつある。

Hecke 環の理論の特徴は、その分野横断性にある。つまり多くの分野の手法が交錯する研究分野である。この連続講義ではやさしいところから始め、ひとつの定理を案内役にして、種々の分野から移入された研究手法がどう交錯し、どういう結果を生んできたのかを紹介していきたい。

プログラム

2月13日(金) 午後

14:00 ~ 15:00 講演 0 1, 15:15 ~ 16:15 講演 0 2,
16:30 ~ 17:30 講演 0 3, 17:45 ~ 18:45 講演 0 4

2月14日(土) 午前

10:00 ~ 11:00 講演 0 5, 11:15 ~ 12:15 講演 0 6

2月14日(土) 午後

14:00 ~ 15:00 講演 0 7, 15:15 ~ 16:15 講演 0 8,
16:30 ~ 17:30 講演 0 9, 17:45 ~ 18:45 講演 1 0

2月15日(日) 午前

10:00 ~ 11:00 講演 1 1, 11:15 ~ 12:15 講演 1 2

2月15日(日) 午後

14:00 ~ 15:00 講演 1 3, 15:15 ~ 16:15 講演 1 4,
16:30 ~ 17:30 講演 1 5

世話人

土屋昭博 (名古屋大学大学院・多元数理)

tsuchiya@math.nagoya-u.ac.jp

南 範彦 (名古屋工業大学・工学部)

minami.norihiko@nitech.ac.jp (問い合わせ先)